

若者向け詐欺対策！

テーマ名	若年層、現役世代に届く防犯対策の広報
希望する提案のイメージ	若年層や現役世代に届くデジタル広報や、これらのターゲット層を対象とした啓発を目的としたソリューションの提供
提案者側のメリット	実証後に、福島市の委託・発注等の契約に繋がる可能性がある 自治体との連携実績として、企業の信頼性向上につながる 地域課題解決に取り組む事例として、対外的に発信できる 採用広報・企業ブランディング・取引先への説明材料として活用できる 今回の取組を事例化し、同じような課題を持つ自治体や地域へ展開できる
概要	なりすまし詐欺については、一般的に高齢者が被害者となるイメージを持たれていたが、架空料金請求やSNSを利用した詐欺など、手口によっては若年層や現役世代の被害も急増している。このように、被害対象があらゆる年代へ拡大しており、深刻な社会問題となっている。
市の現状・課題	【本市の取組】 ・SNS(LINE、X、Facebook)による注意喚起 ・デジタルサイネージへの啓発動画掲載 ・出前講座や街頭での啓発活動 デジタルネイティブ世代を含む若年・現役層は、なりすまし詐欺に対して「自分は騙されない」というバイアスが働きやすく、危機意識の啓発が届きにくい実態にある。 従来の自治体による「全住民向けの一方向的な情報発信」では、伝えたい必要な情報を十分に届けることが困難となっている。 対象者の情報収集方法を踏まえた、従来の啓発手法では届きにくい層に対し、共感や関心をひく新たな防犯アプローチを展開することにより、行動につながるような情報発信方法が必要である。
留意点・制約等	【望ましい提案】 ・福島市のこれまでの取組を踏まえた提案 ・まずは小さく始め、段階的に広げられる提案 【採用しづらい提案】 ・課題を十分に理解していない、一般的すぎる提案 ・初期段階から高額な予算や大規模なシステム等の導入を前提とした提案 ・福島市の予算のみを前提にし、提案者側の費用面の工夫が見えない提案
募集期間	随時
担当部署 (問い合わせ先)	所属名:市民・文化スポーツ部 生活課 電話:024-525-3787 mail:seikatsu@mail.city.fukushima.fukushima.jp